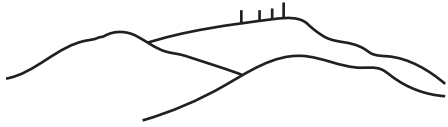


# Youth Manna

2022/1/3 - 1/9



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2022/1/3(月)

## 詩篇 109 篇

心の傷ついたダビデの正直な告白が記されている。ダビデは自分を苦しめる敵が、その悪に対する報いを受けるようにと祈っている。そんなことを祈って良いのだろうかと思うくらい、激しいことばが並んでいるね。

ここで重要なことは、ダビデは自ら復讐したのではなく、ただ神様に心を注ぎ出して祈っていることだ。神様は「あなたは復讐してはならない。... あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい。」(レビ 19:18)と私たちに命じているよ。

隣人を愛することが神様が望まれていることだけど、時として私たちの心には様々な反応が起こるよね。悔しさや許せない思い、私たちのすべての感情や思いを神様は大きく受け止めてくださるお方だよ。人を愛そうとする時に生じる葛藤や苦しみを、正直に神様に打ち明けて祈ろう！

2022/1/4(火)

## 詩篇 110 篇

1 節「主(父なる神)は私の主(メシアであるイエス・キリスト)に言われた」ダビデはイエス様が生まれる前に、このように預言して賛美したよ。

イエス様は私たちと同じ姿で人として生まれ、低くなって仕える者として歩まれたけど、十字架の死から蘇り、天に上げられ、神の右の座に着座されたんだ。

では、イエス様がとこしえの大祭司となられたとはどういうことだろう。それは、イエス様がいつも生きていて、人々のために今もとりなしをしているということであり、ご自分によって神に近づく人々を完全に救うことのできる方とされたということだよ(ヘブル 7:25)。

イエス様の御名によって祈ることがどれほどすごいことなのかを覚えて、信仰を持って祈ろう！

2022/1/5(水)

## 1 テモテ 1:1-11

私たちは人生の歩みにおいて、留まるか退くか、それとも進むべきかと思い悩む者である。このときエペソ教会での牧会に行き詰まっていたテモテも、その問題で悩んでいた。そしてパウロは、「あなたはエペソにとどまり」(3)と記して、そのまま続けるようにと伝えている。

パウロのテモテに対する最初の助言は、3-4 節のことばであった。「命じなさい」とあるが、教会は神の命令が隅々まで行き渡り、その命令にしたがって一体となって歩んでいくものである。テモテはこの手紙を読み、神から自分に与えられた命令の一つひとつを思い出していかなければならなかった。

今、自分が従うべき大切な神の命令は何か、祈り、考えよう！

2022/1/6(木)

## 1 テモテ 1:12-20

今日の箇所では、困難な状況にいるテモテに対して、励まそうとしたパウロがうかがえる。

パウロは 13 節で神様のあわれみを受けたことについて述べている。それは、神様を知らず多くのキリスト者を迫害する側だったパウロが、神様に会って大きく変えられたことである。パウロはこの時キリストの本当の愛を知った。

神様を知ってるはずの私たちですら愛が足りないことはないだろうか？愛があると思っていても、それは犠牲の無い、余りからの行動ではないだろうか？私たちは神様のあわれみ、恵みに生かされている。その愛を流そう！

2022/1/7(金)

## 1 テモテ 2 章

神様は、すべての人が救われることを望んでいます(4)。だから、私たちがすべての人の救いのために祈ることは神様が喜ばれることなんだね。当時、教会はこの世の権威者たちから迫害されていたけれど、そのような人たちのためにも祈り、感謝をささげるようにとパウロは勧めているよ(2)。自分を良く思っていない人がいたとしても、その人のために神様の愛で祈る者になりたいね。

そして、男性たちには、どこでもきよい手を上げて祈るように、女性たちには良い行いで自分を飾るようにと勧めているよ。教会が強められ、宣教が進むために、今日自分がなすべき小さな行動は何か、考えて実行しよう！

2021/1/8(土)

## 1 テモテ 3 章

今日の箇所では監督と執事の役割について書かれているね。

今の教会でいうと監督は牧師、執事は教会役員との役割と同じようなものだった。パウロはまず、その役割をすることについて、より神様の恵みを深く味わえるもの、信仰が励まされるものだと、素晴らしさを語っているね。そして、その役割をするためには教会の審査が必要で、必要な資質について教えている。神様の群れである教会を、神様の心を受け取って導く必要があるからなんだ。

教会の牧師先生、役員の方々の名前をみんなは知っているかな？ぜひ知って、その一人一人の働きのために祈ろう！

2021/1/9(日)

## 1 テモテ 4 章

ここの箇所では、結婚や食べることについて、みことばからではなく、偽りによって教えている人がいることが書かれています。そのように、人のことばを基準にしてしまう人は、神様から離れてしまうようになってしまった。

私たちは日々の生活の基準をどこにおいて、行動しているでしょうか。続く箇所には、そのような作り話ではなく、神のことばと祈りによって、自分自身を鍛えるようにと書かれています。

神様のことばに毎日触れ、祈ることこそが自分自身をイエス様に近づけてくれる歩みになるということだね。私たちの毎朝のデボーションでの神様との交わりはどうでしょうか。日々みことばによって自分自身を鍛えることは出来ているでしょうか。2022 年、自分がどのようにデボーションに取り組んでいくか、神様に祈り考えてみよう！